

特別養護老人ホーム レーベンホーム戸田

【平成28年度事業計画書】

最終版  
2016.3.20

## 目次

1. 法人運営計画	P1～P2
(1) 社会福祉法人制度改革（改正社会福祉法人法）への対応	
(2) 施設の現況報告と次年度の目標	
(3) 社会福祉法人のもうひとつの使命	
2. 介護部門計画	P3～P6
・特別養護老人ホーム	
①従来型（2階）	
②ユニット型（3階）	
③ユニット型（4階）	
④ショートステイ	
⑤デイサービス	
3. 栄養科部門計画	P6
4. 看護部門計画	P6
5. 機能訓練部門計画	P7
資料1 福祉用具 利用状況	
資料2 スタッフ勉強会	
資料3 リハビリレク（映画鑑賞会・書道）	
6. 居宅介護支援事業所計画	P7
7. 委員会の主な取り組み	P8～P17
(1) 入所検討委員会	
(2) 事故対策委員会	
(3) 身体拘束廃止・虐待防止委員会	
(4) 感染・褥瘡委員会	
(5) ターミナル委員会	
(6) 入浴・排泄委員会	
(7) 安全衛生委員会	
(8) 行事委員会	
(9) 嚥下・口腔委員会	
(10) 環境整備委員会	
(11) 防火管理委員会	
(12) 苦情対策・サービス向上委員会	
(13) エコ委員会	
8. 補助金	P17

\*外部研修参加者リスト（26年度、27年度）添付

\*年間行事实績（27年度）、予定（28年度）添付

\*稼働率・収入実績、28年度予算案添付

## 目次

### 1. 28年度法人運営計画：次年度の目標

---

#### (1) 社会福祉法人制度改革（改正社会福祉法人法）への対応

制度改革の骨子は、1) 内部留保を貯めないで事業へ再投下する、2) 戦略的事業計画の策定：社会福祉充実化計画、3) 運営ガバナンスの強化、4) 無料または低額の料金で現有介護サービスを提供する、5) 財務状況ほか法人情報の透明化、6) 役員責任厳格化、7) 長期的な収支相償概念の採用、8) 監査法人との監査契約などが挙げられます。

社会福祉法人法改正に従い、平成28年度から29年度にかけて、法人理事・監事・評議員の選任の仕方や役割、責任の在り方が変更される予定です。当法人では制度が決まり次第、2年間かけて対応していく予定です（3、5、6）。

また、事業規模がおよそ7億円以上の法人には、監査法人選任の義務付けや、財務情報の公開などが進められます。（3、6、7、8）、一方、社会福祉法人の「公益的な取組の責務」と「地域公益活動」の義務化が明文化されます。法人の役割として、レーベンホーム戸田で得られた収益をもとに、以下の三つの事業の展開を計画します。

順位1) 新たな社会福祉事業の創設：公益的な取組（その地域に必要な福祉サービス：例えば特養、ショートステイ、小規模多機能、グループホーム、サ高住の提供等）

順位2) 地域公益事業への展開（無料・低額な料金によるレーベンホーム戸田でのサービス提供等で、社会福祉充実残額の範囲で充当）

順位3) 訪問介護ステーション、定時巡回型訪問看護・介護、居宅事業所などの事業を提供する。（1、2、4、7）。法人としてどの部分に収益を再投下するか、この1年間で新規事業計画および地域社会貢献の仕方をまとめ、戦略的事業計画として県および市町村へプランを提出し協議して事業を進めたいと考えます。

#### (2) 施設の現況報告と次年度の目標：

本事業計画書は、現況報告と前年度に設定した目標の進捗・達成度、さらにその結果を踏まえた次年度の目標という形で記載させてもらいました。また年行事等の記録を、今回は単年度だけでなく開設以来3年分を、1) 職員研修記録、2) 補助金等記録、3) 年間行事を記載し、28年度のスケジュール表と併せ表記しました。

また施設各種委員会報告では、例えばサービス向上委員会でのアンケート結果や、入所判定委員会は特養入居基準の変更等による開所3年目における入居申し込み者の再調査・アンケート結果、最近の待機者情報、また入居者やご家

族の声、地域の特養ニーズ、さらに入居希望者の変化（ユニットか従来かなど）や要望をまとめました。これらの報告を踏まえ、法人として現施設（レーベンホーム戸田）がどんな特養を目指すか、また新たな施設を作る場合にはどんな施設を創るか次年度で考えてみたいと思います。

（3）社会福祉法人のもうひとつの使命：高齢者福祉施設にならではの介護支援と地域における生活・相談支援：地域が必要とするサービスの創造および支援（地域が求めるサービスを民生委員等から聞き出すなど）を行い地域の社会資源として役割を果たすこと

地域公益事業への展開の一環として、地域における社会貢献（利益の地域への還元）があります。法人が地域に根付いた施設となるためには、法人が自主財源でコミュニティー広場やボランティアなどの物的人的資源を提供して、地域住民と一緒にその地域での認知症の方や介護の必要な方の洗い出し、相談窓口、高齢者の就労の場の提供、生きがい作りなどを行う取組です。地域コミュニティー広場を今年度に開設しようと努力しましたが、隣接予定地に家屋を作ることが建築法規上困難であることが判明し、計画が中断しております。次年度では、法人として計画の提出、報告義務（社会福祉充実計画として行政へ提出して、支出費用を明記する）がありますので、限られた現有施設ではありますが何ができるか、独自のアイデアで、できる範囲で始めたいと思います。

用語解説：

社会福祉充実計画と充実残額：次のように規定されている（参照；改正案第55条の2）

A) 法人の貸借対照表の純資産額から

B) 「基準日において現に行っている事業を継続するために必要な財産の額として厚生労働省令で定めるところにより算定した額」を引いた金額（A-B）を「社会福祉充実残額」とする。

この「社会福祉充実残額」がある場合に、法人は、社会福祉充実事業（基準日に行っている社会福祉事業若しくは公益事業、又は新たに行う社会福祉事業若しくは公益事業）の実施に関する計画、つまり「社会福祉充実計画」を作成し承認を受けることが義務付けられる。

29年4月の法施行までに準備すること：法人で今後どれだけの資金が運営に必要となるかを算出する。大規模修繕、人件費の伸び、事業の拡大など、ヒトとモノの充実に必要となる資金を計算して、法人の貸借対照表を確認し、必要な資金が確保できているかを判断する。また資金収支計算書を見て、毎年どれだけ資金を上乗せできるか予測し、事業活動計算書を見て、法人のサービス活動が右肩上がりに伸びているか、横ばいなのかを把握、これからの中長期経営計画や積立計画に反映させる。

## 施設運営計画

### 2. 介護部門計画

入居者様、利用者様に対して「畏敬の念」を持ち、人格を尊重し明るく健康で、家庭的な生活が提供できるよう全職員が一体となり個々のニーズの把握に努め、笑顔で心のこもった介護を行います。また施設としての安全、安心を基本とした介護サービスの提供を行う為、ハウ・レン・ソウの徹底、情報の共有化に努める。

#### 特別養護老人ホーム

##### ①従来型（2階）

###### <今年度目標>

- 1.更に個々の職員の技術と知識の向上、事故報告書の検証を元に事故を防ぐ。
- 2.外食等のレクリエーションを開催し入居者様の楽しみを増やしていく。  
→1.従来型における個別ケア、ユニット化の推進を目的として、7月から約20名の職員を半分に分け50名の利用者をA24名B26名の二つのグループ体制を導入した。結果として職員が日々把握しなければならない情報量が半減し、利用者ひとりひとりをより深く理解でき必然的に大きな事故が減少した。
- 2.外食レクは今年度行えなかったが、毎月季節に合ったレクを行う事で四季を感じて頂けた。

###### <次年度目標>

気分転換・食欲増進を図るため入居者全員を対象とした外食レクリエーションを9月に行う。地域社会との交流も行える様、春にはお花見、秋には紅葉狩り、散歩や外出を行い外気に触れる事で季節を感じながら認知症予防に努める。

##### ②ユニット型（3階）

###### <今年度目標>

- 1.ユニットリーダー研修を終えた職員を筆頭として、24hシートを作成し入居者様1人1人のケア方法を見直す。
- 2.ケアプラン、機能訓練計画書に基づいた個別対応表の作成及び取り組み。
- 3.各ユニットでレクを毎月開催し季節が感じられるレクリエーションに取り組む。  
→1.ユニットリーダー研修修了者によるユニットケアの勉強会を開き、ユニット全職員に対し、ユニットケアの基本理念や意義、具体的方法などの講習を行い、ユニットケアに対する理解を深めた。（講習日：9/22、9/29、10/6、10/13、10/20、10/27 計6回）

各居室担当中心に 24h シートを作成し、1人1人の1日の様子、起床時間や排泄時間を把握でき、個々の好みや意向を知り個別ケアを実践した。また 24h シートにまとめることで、ユニットの1日の流れの中で何時頃に介助面が多いのか把握することができた。その結果個別機能訓練に取り組む時間が作れた。

- 2.各居室担当が中心となり、ケアプラン・個別機能訓練計画書に基づいて、下肢筋力強化のための歩行訓練を行い、安定した歩行で距離の伸びがみられた。個々としては食器拭きなどの生活習慣もできた。
- 3.季節を感じるレクとして、8月に実物のスイカを使いスイカ割を行った。皆で実物のスイカに触れる事で夏を満喫できた。他、外食レク（とんでん）を年2回行い自由に好きな物を選んで食べる事で食欲も増進し、外出する機会も作る事が出来た。

<次年度目標>

24h シートの見直し・更新を毎月行い、ケアプラン・個別機能訓練計画の内容を細かく組み込むことで、本人のその時の状態に合わせた個別ケアを行っていきます。

### ③ユニット型（4階）

<今年度目標>

- 1.入居者様の個々のペースに合わせた介護を職員皆が同じ考えになり実現させる。
- 2.計画、段取りを組み季節感を取り入れたレクレーションの充実を図り入居者様に喜んで頂く。
- 3.機能訓練計画書に沿った個別での機能訓練の実施。  
→1.（3階と同様）ユニットリーダー研修者による、ユニット職員全員にユニット勉強会を行った。研修資料を参考にし、ユニットの理念、ユニットの考え方、具体例などを紹介し、統一したケアが出来た。  
2.7月にかき氷レクを行い実際の氷に触れる事で季節を感じて頂いた。季節を感じる事で認知症予防に努めた。他、1月の初詣は近所の神社にお参りに行った。  
3.居室担当者が中心で機能訓練指導員と連携し、生活の中のリハビリを個別に見直し実施した。膝の曲げ伸ばしなどをすることにより、立ち上がるがスムーズに行えるようになった事などADLの向上に繋がった。

<次年度目標>

家族との信頼関係を深めるため、職員の写真、居室担当変更の掲示情報を迅速に行う。家族に対して毎回の来設時に心のこもった挨拶を行い、積極的に生活

の様子をお伝えできるようゆっくり過ごして頂くため、お茶やお菓子を召し上がって頂ける様に気を配る。

#### ④ショートステイ

＜今年度目標＞

- 1.インフルエンザ等の感染対策を強化していく。
- 2.忘れ物等の細々としたミスを防ぐため報連相の強化。
- 3.ご利用者様の“出来る”を沢山見出し自立支援の強化を行い特色のある事業所を目指す。

→1.感染対策として、家族様にインフルエンザ予防接種のお願いのお知らせを送る。利用中の体調不良者には、早めの家族対応、早期受診を依頼する事で感染者が出なかった。

2.忘れ物対策として、最終チェック表を作成し確認工程を増やし減少した。薬は専用の箱を設置し双方で確認する事で減少した。

3.今年度より手作りおやつを導入した事で利用者様と一緒に作り、自立支援が行えると同時に好評が得られた。

利用者延利用者 2880名 (H27.4～H27.2.20 現在)

平均稼働率 85.9% (H27.4～H27.2.20 現在)

＜次年度目標＞

利用者の余暇活動の充実としてボランティア招致 (2 か月に一回)。好評であった手作りおやつレクリエーションを定期的に (週 1 回) 開催する。

#### ⑤デイサービス

＜今年度目標＞

- 1.ケアプランをより重視したサービス提供を行う。
- 2.“さくら通信”を作成し配布する事により活動報告を行っているが、来年度は「計画性」を重点とし、月間・週間・日ごとの計画を立てケアマネ、家族へより明確にした物を報告し、ご利用者様を取り巻く関係を密にし構築する。

→1. ケアプラン、通所介護計画をモニタリング報告書に反映出来るように、様式変更をし、常に意識出来る様にした。ケアプラン、通所介護計画、サービス提供内容、評価が一目でわかる様になった。

2. さくら通信を毎月発行した。レクリエーションカレンダーとの両面印刷を行い、月毎の催しや予定もわかりやすく、行事やレクリエーションを楽しみにしている利用者の声が聞かれるようになった。

＜次年度目標＞

○スローガン「楽しかった、また来たい」と思っただくサービスを提供。

利用者の趣向に合ったレクリエーションや趣味活動に参加できるように午後のプログラムを2つ以上用意する。

### 3. 栄養科部門計画

<今年度目標>

1. 刻み食等の食形態を見直し。
2. あんこを使った調理は難しいが、おはぎなどの調理の提供に取り組む。
3. 自家栽培野菜の拡充の提案。  
→1. 刻み食の見直しについては、刻み・ソフト食の数はそれほどかわらなかったが、ペースト食を取り入れることで個々にあった食形態の提供ができた。
2. あんこを使った料理は、調理では月に1~2回、既製品のおやつやパンでは4~5回取り入れた。
3. 自家栽培野菜については30種類もの自家栽培野菜を献立に組み入れることができた。

<次年度目標>

- ① 委託業者の変更を機に、食事提供の刷新を図る。
- ② 行事食やイベント食を充実させ、食の楽しさからQOLの向上を図る。  
(ユニット喫茶費を活用した、「手作りおやつ」等スケジュールを作成し実施)

### 4. 看護部門計画

<今年度目標>

1. 情報共有を行い速やかな医療機関との調整・連携を図り、入院者及び入院日数を最小限に留める。
2. ケアプランに沿ったご利用者様の状況・要望に適した看護計画の展開と心のこもった看護を提供する。
3. 専門職として更なる自己研鑽に努め、より良い看護ケアを提供する。  
→1. 平均稼働率 従来：94.3% ユニット：97.7%
2. ケアプラン更新に合わせた担当者会議に積極的に参加する事で、入居者様の身体状況の変化を展開する事が出来た。
3. 外部研修や地域包括ケア連絡協議会へ参加した。

<次年度目標>

1. 誤薬ゼロを目指す  
マニュアルに沿って指導。事故対策委員会と連携した内部研修の実施。
2. 喀痰吸引従事者の育成・指導・教育  
喀痰吸引登録特定行為事業者登録施設であり実務者研修修了者の育成を行う。



## 5. 機能訓練部門計画

### <今年度目標>

- 1.他職種共同の勉強会に規模を広げ“今”もっとも必要な知識、旬な情報を提供しより有意義なものにしていく。
  - 2.リハビリレクの企画を提案し充実した生活が送れるよう努力する。
  - 3.施設の必須委員会に参加し機能訓練サイドからの視点で積極的に意見をしていく。
- 1.毎月開催した勉強会において、NS や介護職、栄養課との連携により機能訓練の枠を越えた内容の勉強会を内 4 回開催する事ができた。また、福祉用具の専門業者を招いた勉強会も 2 回行った。事故が起きた場合には、その都度勉強会のテーマを変更し、必要な情報を取り入れることができた。
- 2.書道・映画鑑賞を各フロア月に 1 回ずつ定期的に行うことができた。  
映画鑑賞会においては利用者の希望を取り入れた作品選びなどをし、好評を得ることができた。平均参加人数：2F 36名 3F 15名 4F 17名  
書道では、参加することが困難な利用者にも補助により作品を書いていた  
だき、家族からの好評も得る事ができた。平均参加人数：2F 25名 3F 13  
名 4F 12名
  - 3.事故対策・感染褥瘡・嚥下口腔委員会に積極的に出席し、またその内部研修会においても機能訓練指導員としての視点で、意見・提案をすることができた。  
感染褥瘡委員会においては、協力・助言のもと、福祉用具の管理・ベッドマ  
ットの選定などを行った。

### <次年度目標>

毎月開催される事故対策・感染褥瘡・嚥下口腔・ターミナルなどの委員会に積極的に参加をし、福祉用具の管理・姿勢など機能訓練の視点においての助言・提案を行う事で、事故件数、褥瘡である入居者を減らす。嚥下体操を食事前に行えるよう日々指導していく事で誤飲・誤嚥を防ぐ。

## 6. 居宅介護支援事業所計画

### <今年度目標>

地域の資源を把握し地域に根差した相談業務を行う。

→H27.4月より地域包括ケアシステムの構築のため管轄地域支援センター開催の「地域ケア会議」に参加し民生員、薬剤師、自治会、との交流を持つ。近隣の民生委員から住民の傾向を聞き地域包括支援センターまで行けない方や介護認定されていない方などに情報提供の場を作り民生委員、地域包括支援センターとの協力のもと「ケアラズカフェ」の開催の需要について打ち合

わせをおこなった。開催にあたっては次年度事業計画とする。

<次年度目標>

民生委員や管轄の地域包括支援センターと協働し地域住民に対し情報の発信、介護者の相談窓口となる「ケアラズカフェ」を2ヶ月に1回（日曜日）、デイフロアにて開催していく。

## 7. 委員会の主な取り組み

### (1) 入所検討委員会

<今年度目標>

- 1.平成 27 年度介護保険法改訂による優先入所指針の変更に基づき、透明性・公平性を保つ。
- 2.福祉施設入居中の施設勘案  
→特養入居基準の変更等による開所3年目における入居申し込み者の再調査・アンケート結果、最近の待機者情報、また入居者やご家族の声、地域の特養ニーズ、さらに入居希望者の変化（ユニットか従来かなど）や要望をまとめました。

平成 27 年度 申し込み・利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規申し込み		—	8	8	3	2	8	2	3	3	5	5		47
入居	従来	1	0	0	4	0	1	0	1	2	2	2		13
	ユニット	1	1	0	0	0	2	1	2	0	1	1		9
待機者		87	87	92	88	81	81	80	69	34	39	39		
キャンセル		—	28	16	1	5	5	3	11	31	1	1		102

・介護度 1～2 の特例入居申込者数：7名（うち行政確認2名）

特例入居者数：2名

<次年度目標>

#### ①早期入居へ向けての働きかけ

- ・入居可能判定上位者への定期的な現状伺い。
- ・入居が近いと予想される際の入居準備声掛け、ショートステイ利用の呼びかけ。

#### ②優先入所順位の透明化

- ・待機者への半年に一度の入居希望アンケートの実施。

- ・待機者の介護認定有効期間満了者の状態確認（区分確認）。

## (2) 事故対策委員会

### <今年度目標>

- 1.事故が起きた時点での対応を素早く行い検証する。
- 2.ヒヤリハットの重要性を今後も発信していく。
- 3.紛失物等の事故届を早急に挙げるよう努める。

→1.事故発生後、内容を周知するため、報告書の速報を出すようにした。特に大きな事故や行政報告など発表し、介護・ナース機能訓練指導員など、多職種間で検討を行った。検証・カンファレンスが迅速（当日）に行われる様にした。

- 2.毎月各階ヒヤリハット、事故の集計・事故事例・件数を掲示。

### (内部研修)

内 容：救急対応方法と新・事故報告書の記入方法、誤薬について

9/18、10/17、11/21、2/13 の計4回開催

場 所：デイサービス

### <次年度目標>

- ・誤薬等、薬関係及び事故を起こさないための内部研修（2回以上）実施。
- ・事故報告書に基づいた事故防止対策の効果を検証し毎月確認していく。

## (3) 身体拘束廃止・虐待防止委員会

### <今年度目標>

- ・委員会として伝える側の重要性を考えた身体拘束廃止への理解。
- ・各職員への周知。

### → (内部研修)

- 1、平成27年8月31日開催 16:30～デイルームにて  
内容：「身体拘束の対象となる具体的行為」における内部研修
  - ・グレーゾーン(潜在的意識)について
  - ・身体拘束をさせない具体的対応策の提示をする
- 2、平成27年12月12日開催 16:30～デイルームにて  
内容：「虐待の対象となる具体的行為」における内部研修
  - ・身近で起こりやすい虐待事例の検討

### <次年度目標>

- ①スピーチロック0に向けて、毎月の委員会で各フロアから1～2件の良い声掛けと良くない声掛けを発表する。最終的には1年のまとめとして冊子にする。
- ② 内部研修の実施2回/年。

#### (4) 感染・褥瘡委員会

##### <今年度目標>

- ・柔整に指導を受け褥瘡に効果的な体位交換のポジショニング。
- ・職員一人一人の感染症の知識を指導していく。

→

- ・内部研修：褥瘡について（基礎知識、ステージ、処置内容、記録）  
日 時：7/25 16:30～17:30  
参加者：31名
- ・内部研修：感染症の経路と対応策「インフルエンザ編・ノロウイルス編」  
内 容：基礎知識、嘔吐処理実演、厨房の対応、食器の処理方法  
日 時：10/31, 11/16, 12/9 16:30～17:30  
参加者：10月19名、11月10名、12月15名 計44名

※12/9 は福祉衛生用品を取り扱う東京サラヤ(株)の外部講師もあり、ノロウイルス、ジアムースの使用法、手洗いの仕方など説明

- ・ベッドマット管理表作成
- ・機能訓練指導員と連携し、体交用クッション管理と使用者の把握
- ・褥瘡改善・予防のため、各入居者ごとに体位交換のポジショニングシートを作成
- ・個別の体位交換表作成
- ・個別に褥瘡の状態や処置内容を記載した褥瘡記録表を作成

##### <次年度目標>

- \*達成出来た事と継続(発展)させて行くべき事
- ・記録表を活かせなかったので来年度は「好発部位の把握と対策」を行ない、褥瘡ゼロを目指す。
- ・施設内研修…褥瘡1回、感染3回

#### (5) ターミナル委員会

##### <今年度目標>

1. グリーフケアについて浸透させる。
2. レーベンとしてのお見送り方を考える。
3. ケアを振り返る。
4. 人的環境としての情報の共有や交換、フロア間の垣根をなくした協力体制の確保。
5. 物的環境の整備として入居者とその家族が気兼ねなく安心して過ごす事が出来る居心地の良い空間作り。

6.入居者の死を入居者に隠さずありのままを伝えた後のケアを考える。

→1.グリーフケアについての内部研修を開催した。

2.記録ファイルを居室に置き、家族と情報を共有しコミュニケーションを密にした。看取り時のファイルの書式を見直し統一することで、ケアの統一を計った。

3.委員会で各フロアにおけるターミナルケアの状況を定例報告として行うことで、情報の共有を図り、フロア間の協力体制を確保。

4.夜勤リーダーを設けその者を中心とした夜間時の協力体制を構築した。

<グリーフケアの取り組み>

内 容：ふれあい祭り（H27.6.7）のへ招待

対象者：開設以降（H25.4～H27.3）看取りを行った方の家族 18名

来苑者： 1組

<内部研修>

内容：看取りの開始からグリーフケアまで

日時：平成 27 年 11 月 28 日 16:30～17:30 デイルームにて

<次年度目標>

家族とのコミュニケーションを密にすることで、ご本人・ご家族が望まれる終末期を送られるよう、同じ認識をもって統一したケアを行い、寄り添う事ができるように努める。

①在宅（携帯）酸素、吸引器の取り扱いを学ぶ。

②マニュアルの整備・勉強会の開催。

③ターミナル期のケア方針を統一させる。

④聞き取り用紙の作成。

## (6) 入浴・排泄委員会

<今年度目標>

①オムツのコスト削減に向けて単価の安い試供品を使った際の質や入居者様の状況を把握し実行できるよう努める。

②スライド浴の回転盤を導入。使用方法をしっかりと覚えスライド浴を円滑に行えるよう努める。

③特殊浴槽、排泄についての研修会を行い技術・知識を習得し事故のない安全な入浴介助が出来るよう努めます。

→①単価の安いオムツに変更し、入居者様の排泄状況の把握に努め、個々の状況に応じたものを適時使用していく事でパットの使用量を抑えることができた。

②スライド浴に導入された回転盤については活用頻度が低かった為これか

らもさまざまな使用方法を検討し積極的に使用していく。入浴機器（チェア、寝台）使用方法 マニュアル作成。

- ③寝台浴の介助を職員自身で体験する研修を行なうことで入居者様の気持ちを知ることが出来、どのような配慮や注意が必要かを参加者同士で話し合うことの出来る研修が出来ました。

\*寝台浴入浴介助研修\* 8/22・12/26・1/16 の計3回

12月より月2回入浴機器説明 予定

\*オムツの付け方講習\* 2月29日

外部講師：白十字

<次年度目標>

- 1.安全な入浴をしていただけるよう、使用率の低かったスライド浴の使用を推進し、入居者様の状態に合わせた入浴を提供する。
  - ・ADLや個々の状態に適した入浴形態の再検証を行う。
  - ・各入浴機器における問題への取り組み。
  - ・スライド浴における回転盤の使用と管理。
- 2.入居者様の状況に合わせ、適切なオムツを使用するとともに、職員にも無駄なくコスト削減の働きかけをすることで、オムツのコスト削減を行なう。
  - ・毎月金額の提示。

## (7) 安全衛生委員会

<今年度目標>

- 1.メンタルヘルス推進者養成研修で学んだ内容を職員に伝える。
- 2.夜勤者健康診断・定期健康診断・中途入職者入職時検診・新入職員の入職時検診の実施。
- 3.インフルエンザ予防接種及び利用者、職員の体調管理。
  - ②職員健診を次のとおり行った。
    - ・一般健診（平成27年8月4日～10月20日実施）  
合計：65名（安東HP：29名、戸田中央検診センター：36名）
    - ・乳がん検診：8名
    - ・付加健診：2名
    - ・子宮頸がん検診：11名
    - ・夜勤者健診（平成28年2月22日～3月11日）36名
  - ③インフルエンザ予防接種を次のとおり行った。
    - ・インフルエンザ予防接種  
入居者（平成27年11月6日、11月9日実施）

従来：43名 ユニット：40名  
職員（平成27年11月9日～12月14日実施）  
合計：68名（2F:17、3F:11、4F:10、DS・SS:9、医務・機能:5、事務所:14、新人:2）

<次年度目標>

- ①ストレスチェックの実施。
- ②夜勤者健康診断・定期健康診断・中途入職者入職時健診・新入職員の入職時健診の実施。
- ③インフルエンザ予防接種及び利用者、職員の体調管理。

## (8) 行事委員会

<今年度目標>

- 1.納涼祭の開催時期を考え気候の良い時期を選ぶ。
  - 2.敬老会でのボランティアを早い段階から招致。
  - 3.入居者様が楽しめる企画を導入する。
- 1.第一回開催は7月で猛暑であった為開催時期を見直し6月に開催した。気候も良く梅雨入り前で天候にも恵まれた。時期を変更した事と地域住民と触れ合う機会の場を持てる事を願い「ふれあい祭り」と名を付けた。
- 2.早い段階でボランティアは決定していたが、ボランティアメンバーの体調不良によりキャンセルとなり行事委員による「南京玉簾」に変更。その他の行事に関してはボランティアを問題なく呼ぶ事が出来た。
  - 3.ふれあい祭りで職員有志による手作り神輿が各階を周り、施設内にいても祭りの雰囲気を感じて頂ける様に工夫した。
- 6月 7日 レーベンふれあい祭り 開催  
9月 13日 敬老会 開催  
12月 20日 クリスマス会 開催

<次年度目標>

「ふれあい祭り」「敬老会」「クリスマス会」を開催し、入居者様に季節を感じて頂き普段の生活にはない楽しみを提供します。また、行事を通し入居者様、ご家族様、近隣住民の方の交流の場となる様努めます。

- ①長時間の行事参加が難しく行事会場に行けない入居者様が、居室やフロアにいても楽しめる企画の考案。
- ②より安全に楽しんで頂ける様配慮する。

## (9) 嚥下・口腔委員会

### <今年度目標>

- ①刻み食形態では口の中で食塊を形成しにくく飲み込みにくいという事例を検討し軟菜食への移行を考えて行く。
- ②嚥下機能など落ちていく傾向にあるが、トロミが強くても飲み込み辛くなるなどの欠点がある為個人ごとに濃度の検討をしていく。

田中歯科－歯科衛生士による口腔ケア → 加算分の支払いで希望者に行う  
(施設負担での処置)

→今年度より口腔衛生管理体制導入する為、口腔機能維持管理にかかわる助言内容と施設口腔ケア・マネジメント計画書を毎月作成し、毎週木曜日に田中歯科医院歯科衛生士による技術指導を受け、職員による口腔ケアの技術向上に努めた。

- ① 水分トロミ濃度と付け方について統一する為、資料を各階に掲示した。
- ② 職員の口腔ケア技術向上の為、外部講師を招き口腔ケアについての研修を行った。

開催日 平成 27 年 9 月 16 日 (水) 16:30～18:00

会場 デイサービス

講師 山田あつみ先生(日本摂食・リハビリテーション学会認定士歯科衛生士、日本医歯薬専門学校歯科衛生士科講師)

内容 介護保険施設における口腔ケア

出席者 20 名

- ③ 胃瘻の方に対する口腔ケアの推進の為、委員会職員で資料作成を行い内部研修を行った。

開催日 平成 28 年 3 月 19 日 (土) 16:30～17:30

会場 デイサービス

内容 胃瘻の方の口腔ケアについて

### <次年度目標>

\*入居者様の嚥下機能の維持、向上に取り組み、誤嚥性肺炎の予防を目的として以下の活動を行なう。

- ①口腔ケアの重要性や大切さの周知の為、誤嚥性肺炎について、口腔内や嚥下の仕組みに関しての勉強会や研修を計画、実施する。
- ②全職員が認知症の方に対して口腔ケアを行えるように、チェックシートなどの作成、導入を検討する。
- ③各事業で口腔体操を行うことが定着するよう毎月の委員会を通して働きかける。



## (10) 環境整備委員会

<今年度目標>

1. “あいさつ”の重要性を考え強化に努める。
2. 清掃箇所の点検を行う。  
→各フロア均等に清掃が入るように清掃箇所の見直しを行った。それによりフロア毎の清掃回数は次のようになった。  
2F：月曜日～土曜日 3F：火曜日、土曜日 4F：水曜日、金曜日  
廊下に置かれた納品タオル、オムツを速やかに収納するよう促し、速やかに収納するようになった。夏場に臭わないようにゴミ置き場の清掃を2回行った。

<次年度目標>

- ①施設内外を整理整頓する。
  - ・2Fのリネン袋置き場を見直し保管場所を移動する。
  - ・ゴミ置き場清掃を年2回行う。
- ②「居心地がいい」環境を目指す。
  - ・入居者様にとって居心地がいい環境はどんな環境かを検討していく。

## (11) 防火管理委員会

<今年度目標>

- ・消防訓練を定期的に行い全職員への意識付けを行います。
  - ・体制を整え万が一の非常時に備えます。
- 1.消防訓練を以下のとおり行った。  
平成27年7月29日実施、平成28年3月実施
- 2.体制を整えるため消防、救命についての知識、技術の取得に努めた。  
消防訓練指導会（戸田消防本部主催）  
平成27年10月28日開催：3名参加（森、渡辺(雄)、上田）
    - ・普通救命講習会（戸田市消防本部主催）  
平成27年11月15日開催：2名参加（湯浅、大久保）

<次年度目標>

- ①年2回行う消防訓練のうち、夜間想定を1回、火災発生から避難誘導終了までを実際に行う訓練を1回行う。
- ②消防署員による救命講習会を開催し、救命技術の知識と技術を得る。

## (12) 苦情対策・サービス向上委員会

<今年度目標>

- 1.職員の接遇をより良くする。施設内をきれいにする。

2.満足度調査を行い、業務の改善を図る。

→1.委員によるフロア巡視を行った。接遇に関しては、巡視時に不適切な対応などは見られなかったが、入居者とコミュニケーションを取る姿が少なかった。施設内の保清に関しては、巡視時に都度指摘することで清掃回数が増えた。

2.家族に対して満足度調査を行った。アンケート結果や、入所判定委員会の特養入居基準の変更等による開所3年目における入居申し込み者の再調査・アンケート結果、最近の待機者情報、また入居者やご家族の声、地域の特養ニーズ、さらに入居希望者の変化（ユニットか従来かなど）や要望をまとめました。調査結果報告を兼ね家族、職員による懇談会を開催した。また、いただいた意見を基に業務の改善を行った。

- ・面会時に家族へ清掃道具を貸出せるようにした。
- ・食事内容への意見があり、提供する食材、献立の見直しを行った。

<次年度目標>

- ①職員の対応や介護サービス等が向上するよう、家族へ満足度調査を行う。  
(4/1~1ヶ月間を目安に手渡しで配布、回収、集計までを行う)  
・前回回収率47.6%を上回る回収率60%を目指す。
- ②職員ごとの介護技術や対応が向上できるようセルフチェックシートを作成する。

### (13) エコ委員会

<今年度目標>

人材確保の為の経費（広告費、派遣、派遣紹介料）の削減が課題。

- ・運営会議で経費の発表を行うことで、職員に経費削減を意識してもらい、光熱費を抑えた。
- ・稼働率表を作成した。新入居までの平均日数を出すことにより、平成26年度平均日数60.0日を平成27年度では14.7日に減らすことが出来た。

### 【資料】

平成26年度入居までの平均日数（上段：従来 下段：ユニット）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
—	134	13	68.5	38.5	31	19	21.5	23	—	59.5	55	463
60	242	—	68	—	103	55.5	—	15	—	63	11	617.5

平成 27 年度入居までの平均日数（上段：従来 下段：ユニット）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
—	30.5	—	3	—	12	25.3	16	0	—	23	11.5	121.3
37	—	—	12	15	—	—	—	5.5	6	8.5	—	84

<次年度目標>

- ① 障害者施設が運営する古紙回収に協力し、当施設でのゴミ処理費用を削減する。
- ② 月次試算表による収支報告、稼働率表による運営状況を、毎月行われる運営会議にて発表し、職員全員に経費削減、稼働率向上の意識を高めてもらう。

## 8. 補助金

○職場内研修応援事業（埼玉県社会福祉協議会）

補助金：30,000 円

開催日：平成 27 年 9 月 16 日

テーマ：介護保険施設における口腔ケア

講師：山田あつみ先生（日本摂食・リハビリ学会認定士、日本歯科専門学校  
歯科衛生士科講師）

参加者：20 名

内容：口腔ケアの基本、口腔ケア用品の実践、嚥下機能を向上させたい方の判断基準など

○社会福祉施設キャリアアップ事業費補助金（埼玉県高齢福祉課）

補助金：100,000 円（上限）

対象：ユニットリーダー研修 1 名（100,000 円）

生活相談員研修 1 名（9,300 円）

処遇推進者養成研修 1 名（6,000 円）

チームリーダーキャリアパス研修 2 名（8,000 円）

中堅職員キャリアパス研修 1 名（4,000 円）

○中小企業退職金共済掛金補助金（戸田市）

補助金：575,000 円

内訳：対象者 59 名

掛金 2,875,000 円

補助率 20%（575,000 円）

施設購入の福祉用具 利用状況

資料1

	数量	使用中	在庫	使用者		使用No	備考
				フロア	入居者名		
ナーセントパッド	6	4	2	4F		No.②	
				4F		No.③	
				2F		No.④	
				2F		No.⑤	
超通気性サーティパッド	6	6	0	2F		No.①	
				4F		No.②	
				2F		No.③	
				2F		No.④	
				2F		No.⑤	
				2F		No.⑥	
ビーズクッション	2	1	1	2F		No.①	
				2F		No.②	
水色ビーズパット	1	1	0	2F			
水色ビーズパット(蛇)	1	0	1				
水色ビーズパット(ジャハラ)大②	1	1	0	4F			
水色ビーズパット(ジャハラ)小	1	1	0	2F			
水色ビーズパット(S)①	1	0	1				
水色ビーズパット(S)②	1	0	1				
エアクッション	1	1	0	2F			

寄付された福祉用具 利用状況

	使用者		備考
	フロア	入居者名	
リクライニング式車椅子(小塚)	4F		
花柄/赤 車椅子(小塚)	4F		
モスクリーン大型車椅子(石井)	3F		
水色(自操不可)車椅子	4F		予備
花柄/紺シルバーカー(金子トシ)	2F		
グリーンスワン(ロンク)			
水色ビーズパット(ジャハラ)大①	2F		
青ビーズパット(ジャハラ)正方形	2F		
ピーチクッション(IKT)	2F		
三折クッション緑(中島)	2F		
抱き枕(紺)	SS		
タカノクッション			
タカノクッション(機能)			
効クッション Heart Works小山	4F		
フクロウクッション	3F		
赤クッション	2F		
ビーズパット水色(25×60)	2F		
ビーズパット花柄かかと用			
ジャハラ花柄水色(背当て)			
丸型縦割り黄緑(クモ子)	3F		
花柄長方形(小山)クッション			
トヨーカ堂(小山)白クッション	2F		
アフリカチック 茶/クリームクッション			
水色四角穴あきクッション	4F		
茶色ドーナツ	4F		
ハートウィルクッション			
ラックヘルスケア・クッション			
黄黒 ☆型クッション(2F)	3F		
豆クッション(黄緑三日月)①	2F		
豆クッション(黄緑三日月)②			
豆クッション(黄緑三日月)③			
豆クッション(ピンク ハート)①			
豆クッション(ピンク ハート)②	2F		
豆クッション(ピンク ハート)黒線	4F		
豆クッション(オレンジ 丸)①			
豆クッション(オレンジ 丸)②	2F		
豆クッション(オレンジ 丸)③	2F		
豆クッション(オレンジ 丸)④	4F		
豆クッション(オレンジ 丸)⑤	4F		
豆クッション(オレンジ 丸)⑥	2F		
豆クッション(オレンジ 丸)⑦			
豆クッション(黒☆形)①	2F		
豆クッション(黒☆形)②	2F		
豆クッション(黒☆形)③	4F		
豆クッション(青☆形)①			

## 機能訓練 スタッフ勉強会

実施月・日時	テーマ	参加者数	備考
4月 10日・17日・28日 16:30～	移乗介助 (介護主任主催)	33名	(3回開催)
5月 18日・28日 16:30～	バイタルサイン (ナース・機能訓練合同)	21名	
6月19日・29日 16:30～	集団体操における運動指導	23名	
7月10日・18日 16:30～	物理療法機器	19名	
8月 3日・14日 16:30～	食事提供の際の、基準の統一 (栄養課・機能訓練合同)	27名	
9月 1日・ 7日 16:30～	シルバーカーと、歩行車の違い (日本ケアシステム・幸和製作所)	16名	
10月5日・9日 16:30～	口腔体操	22名	
11月2日・13日 16:30～	オムツの当て方 (2Fフロアスタッフ・機能訓練合同)	18名	
12月7日・11日 16:30～	施設で活かせる「解剖学」	19名	
H28 1月15日 16:30～	褥瘡改善(モルテン)	18名	(1回のみ)
2月1日・12日 16:30～	拘縮解除の為の、関節運動	15名	
3月7日・11日 16:30～	腰痛予防体操	19名	

## 映画鑑賞会

資料3

実施月	フロア	日時	タイトル	参加者数(家族)	備考
H27 1月	3F	18日 13:00~	チャップリンのサーカス	13名(0)	
	4F	18日 15:00~	チャップリンのサーカス	16名(0)	
	2F	25日 10:00~	チャップリンのサーカス	32名(0)	
	4F	25日 13:00~	椿 三十郎	16名(0)	
2月	2F	1日 9:45~	釣りバカ日誌	33名(0)	
	3F	8日 13:00~	タイタニック	15名(1)	
	4F	22日 13:00~	タイタニック	16名(0)	
3月	3F	8日 13:00~	男はつらいよ	10名(1)	体調不良者が続出
	2F	15日 9:45~	男はつらいよ	37名(0)	
	4F	29日 13:00~	男はつらいよ	12名(0)	高校野球を観たい方が数名
4月	3F	5日 13:00~	いつでも夢を	16名(1)	
	2F	12日 9:45~	いつでも夢を	35名(0)	
	4F	19日 13:00~	いつでも夢を	15名(0)	
5月	2F	10日 9:45~	大学の若大将	35名(0)	
	3F	17日 13:00~	大学の若大将	16名(0)	
	4F	31日 13:00~	大学の若大将	17名(0)	
6月	4F	14日 13:00~	上を向いて歩こう	17名(0)	SSから、参加者 1名
	3F	21日 13:00~	上を向いて歩こう	14名(0)	
	2F	28日 9:45~	上を向いて歩こう	35名(2)	
7月	4F	12日 13:00~	新選組	15名(0)	SSから、参加者 3名
	3F	19日 13:00~	新選組	14名(1)	
	2F	26日 9:45~	中止		
8月	2F	2日 9:45~	新選組	34名(0)	
	4F	9日 13:00~	釣りバカ日誌	16名(0)	
	3F	23日 9:45~	釣りバカ日誌	12名(1)	
	2F	30日 13:00~	釣りバカ日誌2	35名(0)	
9月	2F	6日 9:45~	チャップリンの街の灯	35名(0)	
	3F	20日 13:00~	中止		フロアでのレクと重なった為
	4F	27日 13:00~	チャップリンの街の灯	19名(0)	
10月	2F	4日 9:45~	幸福の黄色いハンカチ	37名(0)	SSから、2名参加
	4F	11日 13:00~	幸福の黄色いハンカチ	14名(0)	
	3F	18日 13:00~	幸福の黄色いハンカチ	15名(0)	
11月	2F	8日 9:45~	ジャンケン娘	36名(1)	
	4F	15日 13:00~	ジャンケン娘	18名(0)	
	3F	22日 13:00~	ジャンケン娘	16名	
12月	2F	6日 9:45~	男はつらいよ No.3	39名(1)	
	3F	6日 13:00~	男はつらいよ No.3	13名(1)	
	4F	27日 13:00~	男はつらいよ No.3	21名(2)	SSから、4名参加あり
H28 1月	2F	10日 9:45~	二人の武蔵	33名	
	2F	24日 9:45~	花笠道中	36名	
	3F	10日 13:00~	二人の武蔵	18名	SSから、4名参加あり
	3F	24日 13:00~	花笠道中	14名(1)	SSから、1名参加あり
	4F	17日 13:00~	二人の武蔵	17名	
	4F	31日 13:00~	花笠道中	18名	
	2月	2F	14日 9:45~	鞍馬天狗	37名
3F		14日 13:00~	鞍馬天狗	14名	
4F		28日 13:00~	鞍馬天狗	19名	
3月	2F	13日 9:45~	振り子	35名	
	3F	20日 13:00~	振り子	10名	
	4F	27日 13:00~	振り子		

## 書道

実施月	フロア	日時	参加者	備考
4月	4F	12日 10:00~11:00	11名	
	3F	19日 10:00~11:00	12名	
	2F	26日 10:00~11:00	18名	
5月	4F	17日 10:00~11:00	10名	
	2F	24日 10:00~11:00	27名	2人誘導にてスムーズに行えた為
	3F	31日 10:00~11:00	13名	
6月	3F	14日 10:00~11:00	13名	
	4F	21日 10:00~11:00	12名	
7月	2F	5日 9:45~10:30	17名	午後にイベントがあり、30分短縮 SSから、参加者2名
	3F	12日 9:45~11:00	12名	
	4F	19日 9:45~11:00	14名	
8月	3F	9日 9:45~11:00	11名	
	4F	16日 9:45~11:00	14名	
	2F	23日 9:45~11:00	21名	
9月	4F	20日 9:45~11:00	12名	
	3F	27日 9:45~11:00	11名	
10月	3F	11日 9:45~11:00	11名	
	4F	18日 9:45~11:00	13名	
	2F	25日 9:45~11:00	21名	
11月	3F	15日 9:45~11:00	14名	
12月	2F	8日 13:00~14:30	30名	サポートスタッフの、応援あり
	4F	13日 9:45~11:00	12名	
	3F	27日 9:45~11:00	16名	
H28 1月	2F	1日 13:00~14:30	33名	機能訓練2人で誘導を行った。
	4F	2日 13:00~14:30	12名	
	3F	2日 13:00~14:30	16名	
2月	2F	8日 13:00~14:30	28名	
	4F	21日 9:50~11:00	15名	
	3F	28日 9:50~11:00	12名	
3月	2F	8日 13:00~14:30	27名	
	4F	20日 9:50~11:00	13名	
	3F	27日 9:50~11:00		

平成26年度外部研修参加者リスト

月	日	報告書	対象予定者	参加者	内 容	主 催 者	予 算
4	15	済			認知症発症抑制連携会	医療法人財団啓明会 中島病院	
5	9	済			県南特別養護老人ホーム連絡協議会		6,000
	23	済			自主点検表	県高齢介護課	
6	1	済			ポジショニングのコンセプトと原理	株式会社ケーブ セミナー	3,000
	16~17				チームリーダー研修	埼玉県社協	3,000
	25				感染症基礎	埼玉県社協	1,000
	27、7/4、11				社会福祉援助技術研修	埼玉県社協	6,000
	6/17、7/1、8、15、8/4				スーパーバイザー養成研修	埼玉県社協	10,750
7	1				新施設等苦情対応研修会	埼玉県運営適正化委員会事務局	0
	8、18				中堅職員研修	埼玉県社協	3,000
	15				摂食・嚥下リハビリテーション 初級研修	埼玉県社協	2,000
	22				苦情解決セミナー	埼玉県社協	2,000
	24				BCP(事業継続計画)研修	埼玉県社協	5,000
	31				主治医研修会	戸田市福祉部介護保険課	
	8	6、8				初任者職員研修	埼玉県社協
8	11、12				初任者職員研修	埼玉県社協	1,000
	18、21				初任者職員研修	埼玉県社協	1,000
	9	1			ターミナルケア研修	埼玉県社協	3,000
9	18				求人活動支援実務説明会	埼玉県社協	0
	28				戸田市総合防災訓練	中町自主防災会(町会)	0
	29~10/3				ユニットリーダー研修	一般社団法人 日本ユニットケア推進センター	100,000
	10	1、9、23、28			人事労務管理研修	埼玉県社協	8,000
10	2				認知症介護基礎研修	埼玉県社協	2,000
	2				平成26年度成年後見セミナー	埼玉県社協	1,000
	3、10、17				社会福祉援助技術研修	埼玉県社協	6,000
	8				消防訓練指導会	戸田市防火安全協会	
	9				相談員交流会	(当番)社会福祉法人 名栗園	
	17				ステップアップ研修 I	埼玉県社協	3,000
	20				感染症・摂食嚥下障害	(尚)ハビネスナカオ	0
	24				苦情解決セミナー(応用)	埼玉県社協	2,000
	31				県南特別養護老人ホーム連絡協議会	(当番)社会福祉法人 徳誠会	6,000
	31、11/18				平成26年度介護人間力向上研修	埼玉県社協	6,000
11	4、5				埼玉県ユニットケアフォローアップ研修	埼玉県、関東ユニットケア推進協会	0
	4、5				埼玉県ユニットケアフォローアップ研修	埼玉県、関東ユニットケア推進協会	0
	5				地域包括ケアシステム推進セミナー	埼玉県社協	0
	11				「介護の日 Dケアセミナー」	白十字 株式会社	0
	11				平成26年度施設ボランティア受け入れ	埼玉県社協	0
	13				危機管理～リスクマネジメント～	埼玉県社協	3,000



平成26年度外部研修参加者リスト

月	日	報告書	対象予定者	参加者	内 容	主 催 者	予 算	
11	19				「キャリア段位制度に対応した人事評価作り」	公益財団法人 介護労働安定センター 埼玉支	0	
	19				介護等体験実務説明会	埼玉県社協	0	
	19				地域で孤立させないために	戸田市美笹地区あんしんネットワーク	0	
	19				ブレイケアリーダー	㈱ブレイケア	0	
	19							
	25				メンタルヘルス推進者養成研修	埼玉県社協	3,000	
	26				地域包括ケアシステムにおける 周辺施設の取組み	とだ小林医院		
12	10				集団指導	埼玉県福祉部福祉課	0	
	10				戸田市通所介護事業所部会	株式会社 ウイズネット		
	10				苦情解決セミナー(講義編)	埼玉県社協	2,000	
	11				雇用管理責任者講習	公益財団法人介護労働安定センター埼玉支部	0	
	16				プレゼンテーション	埼玉県社協	3,000	
	16				稼働率UPのノウハウ～	カイボケセミナー	0	
	8、9、18				看護リーダー養成研修	埼玉県福祉部高齢介護課	50,000	
	11、18、19、25				平成26年度 職場研修担当者養成研修	埼玉県社協	6,000	
	18				平成26年度社会福祉法人監査研修	埼玉県社協	3,000	
1	10、24				認知症介護専門研修	埼玉県社協	6,000	
	19～2/13				ユニットリーダー研修	一般社団法人 日本ユニットケア推進センター	100,000	
	19～2/20				ユニットリーダー研修	一般社団法人 日本ユニットケア推進センター	100,000	
	19、23				新任職員フォローアップ研修	埼玉県社協	4,000	
	21				シニアワーク合同面接会	(公財)いきいき埼玉 (共催)大宮ハローワーク		
	23				相談員交流会	(当番)社会福祉法人 安心会		
	26				介護保険事業説明会	戸田市福祉部長寿介護課		
	27				不在者投票の取扱い打合せ	埼玉県選挙管理委員会		
	30				平成26年度厚生労働省老人保健健康増進等事業	一般財団法人 日本総合研究所	0	
	30				県南特別養護老人ホーム連絡協議会	(当番)社会福祉法人 キングス・ガーデン埼玉	6,000	
	31				高齢者施設・在宅における感染対策	関西看護ケア研究会	12,960	
2	2				社会福祉法人管理者研修	埼玉県福祉部福祉監査課		
	6、13、20				社会福祉援助技術研修	埼玉県社協	6,000	
	12、13、23				施設等運営管理者養成研修	埼玉県社協	9,000	
	18				業務用冷凍食品フェア	グローバル東亜(イトヤ食品)	0	
	19				介護保険施設等口腔ケア研修会	埼玉県福祉部高齢介護課	0	
	23				肺炎の対処法 ～呼吸リハビリテーションの観点から～	戸田・蕨地域リハビリテーション研究会 (とだ小林医院)	0	
3	2				ターミナルケア研修	埼玉県社協	3,000	
	5				リスクマネジメントセミナー	日産プリンス埼玉販売株式会社	0	
	8				認知症の方への食事支援	医療法人社団 ラムザ歯科サポート	0	
	10				養介護施設従事者等による高齢者虐待	社会福祉法人 東北福祉会	0	
	12				ユニットケア研修フォーラム	日本ユニットケア推進センター	7,560	
	13					県南特別養護老人ホーム連絡協議会 及び懇親会	(当番)春輝苑	3,190
								3,190

月	日	報告書	対象予定者	参加者	内 容	主 催 者	予 算
4	13	○			生活相談員 スキルアップ研修会	お茶の水ケアサービス学院	9,300
	15	○			戸田市通所介護事業所部会	(株)ウィズネット	0
	30	○			H27年度埼玉県介護職員合同入職式		0
5	11~13、6/22~26	○			ユニットリーダー研修	一般社団法人 日本ユニットケア推進センター	100,000
	13	○			メンタルヘルス推進者養成研修	埼玉県社協	3,300
	18、20				チームリーダーキャリアパス研修	埼玉県社協	4,000
	19				マイナンバー制度	㈱三菱電機ビジネスシステム	0
	21				介護事業経営者セミナー	介護事業研究会	0
	21	○			県南特別養護老人ホーム連絡協議会	(当番)社会福祉法人 いきいきタウンとだ	6,000
							6,000
	22	○			集団指導	埼玉県福祉部福祉監査課	/
		○					/
	25	○			不在者投票の取り扱いに関する打合	埼玉県選挙管理委員会	0
28	○			集団指導	埼玉県福祉部福祉監査課	/	
	○					/	
30	○			接触・嚔下障害の評価と訓練の実際	ヘルシーフード株式会社	0	
6	2、4	○			チームリーダーキャリアパス	埼玉県社協	4,000
	18				相談員交流会及び懇親会	(当番)社会福祉法人 益慈会 特養 和楽苑	/
	22、23	○			中堅職員キャリアパス研修	埼玉県社協	4,000
	26	○			平成27年度感染症基礎研修	埼玉県社協	2,000
7	16	○			地域安全 懇話会	中町自治会	0
	17、22	○			平成27年度接遇推進者養成研修	埼玉県社協	6,000
	24	○			県南特別養護老人ホーム連絡協議会	(当番)社会福祉法人 草加松原会 特養 クォーターヴィレッジ	6,000
							6,000
27	○			第1回介護支援専門員連絡協議会	戸田市介護支援専門員連絡協議会 会長:小林	/	
8	1	○			メディカルケアサポートセミナー	メディカルケアサポートセミナー事務局 共催:株式会社モルテン	3,000
		○					3,000
	10、10/7				ナレッジマネジメント研修	埼玉県社協	6,000
	20	○			化粧療法説明会	資生堂販売株式会社	0
		○					/
	20	○			戸市内特養相談員交流会	(社福)戸田市社会福祉事業団 戸田ほほえみの郷	/
	28	○			働きやすい職場環境づくり~	埼玉県労働局雇用均等室	0
30	○			平成27年度 社会福祉法人監査研修 の実施について	埼玉県社協	3,000	
						3,000	
9	7	○			新任職員定着ノウハウセミナー	埼玉県社会福祉法人経営者協議会	2,000
		○					2,000
	7	○			福祉施設のための苦情対応セミナー	損保ジャパン日本興亜	0
	9	○			相談員交流会及び懇親会	(当番)社会福祉法人 益慈会 特養 マッシュテラス	1,000
		○					1,000
	16	○			これからのノロウィルス現場対策	東京サラヤ株式会社	0
	25	○			「個別ケア」実践ヒント研修会	一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会	5,000
	○			5,000			
28	○			平成27年度川口保健所在宅医療研修会	埼玉県川口保健所	0	
29	○			脳疾患と高次脳機能	グリーンビレッジ蔭	0	
10	7	○			地域包括ケアシステム推進セミナー	埼玉県社会福祉協議会	0
	9				地域連携懇話会	介護老人保険施設 グリーンビレッジ蔭	/
	9	○			平成27年度埼玉県認定調査新規研修	埼玉県福祉部地域包括ケア	0
	14				福祉職員のためのプレゼンテーション研修	埼玉県社会福祉協議会	3,000
	15	○			戸市内相談員交流会	(社福)戸田市社会福祉事業団 戸田ほほえみの郷	/
		○					/
	15	○			排便コントロール勉強会	太陽化学株式会社	0
	○			0			
16	○			県南連絡協議会	(当番)社会福祉法人 厚生会 特養 川ロシニアセンター	6,000	
	○					6,000	

月	日	報告書	対象予定者	参加者	内 容	主 催 者	予 算	
10	17	○			第4回福祉の仕事・保育の仕事フェア	埼玉県社会福祉協議会	/	
		○						
	19			稼働率UPのコツ	カイボケセミナー	0		
	19	○		H27要介護施設従事者(管理者)等向け高齢者虐待防止研修	埼玉県福祉部地域包括ケア	0		
11	28	○			消防訓練指導会	戸田市消防本部予防課	/	
		○						
11	2	○			H27年度 女性福祉従事者研修	埼玉県社協	3,000	
	4~6、11/9~13	○			ユニットリーダー研修	一般社団法人 日本ユニットケア推進センター	100,000	
	11/6、1/25	○			H27年度 介護職員施設間交流研修	埼玉県社協	1,000	
	9	○			レクリエーション研修	埼玉県社会福祉協議会	4,000	
	9				川口保健所管内感染予防対策研修会	川口保健所	/	
	15	○				普通救命講習会	戸田市中町会(戸田市消防本部)	/
		○						
	18	○			ターミナルケア研修	埼玉県社協	3,000	
	18	○			平成27年度支部活動推進セミナー 孤立防止地域フォーラム	戸田市社会福祉協議会 埼玉県社会福祉協議会	/	
25	○			介護等体験事業説明会	埼玉県社協	0		
27	○			地域連携看護師会との懇談会	地域連携看護師会	/		
12	4、11、18				社会福祉援助技術	埼玉県社協	6,000	
	4	/			相談員交流会	(当番)社会福祉法人 キングス・ガーデン埼玉 特養 川口キングス・ガーデン	/	
	13	○			マイナンバー制度研修	埼玉県社協	3,000	
	14	/				介護職のための医療知識	一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会	6,000
		○			6,000			
	30	○			社会福祉法人制度改革対応セミナー	埼玉県社協	0	
	16	○			H27 シニアワークプログラム	公益財団法人いきいき埼玉	0	
17	○			経営協青年部会 第4回研修会	埼玉県社協	0		
1	15、29	○			介護人間力向上研修	埼玉県社協	6,000	
	28	○			稼働率UPの秘訣	カイボケセミナー	0	
	29					(当番)社会福祉法人 健寿会 介護老人福祉施設 川口しあわせの里	6,000	
○				6,000				
2	1	○			特養)とだ優和の社 講演会・見学会	特養)とだ優和の社	/	
		○						
	2	資料提出			平成27年度社会福祉法人管理者研修	埼玉県福祉部福祉監査課	/	
	5	○			H27年度新任職員フォローアップ研修	埼玉県社協	4,000	
	8	○			介護支援専門員連絡協議会	戸田市介護支援専門員連絡協議会 会長:小林	/	
	9	○			埼玉県介護支援専門員レベルアップ	埼玉県福祉部高齢者福祉課	500	
	18	○				(社福)戸田市社会福祉事業団 戸田ほほえみの郷	/	
		○						
19	○				資生堂「ハンドケア講座」	資生堂販売株式会社	2,160	
	○			2,160				
20	○				認知症多職種協同研修・ 在宅医療介護連携研修	蕨市・戸田市	/	
3	12	○			介護支援専門員スキルアップ研修	一般社団法人 埼玉県介護支援専門員協会	6,000	
	16	○			社会福祉施設災害時対応研修	埼玉県社協	2,000	
		○					2,000	
	16				福祉の仕事・保育の仕事 地域就職相談会	埼玉県社協 福祉人材センター	/	
	17	○			多職種連携の会	川口保健所	/	
	23	○			平成27年度 認定調査研修	蕨市 介護保険室	/	
	24				事業者説明会	戸田市福祉部長寿介護課	/	
25	○				県南特別養護老人ホーム 連絡協議会相談員交流会	社会福祉法人ひふみ会 特別養護老人ホーム親光	3,500	
	○			3,500				

## 27年度 レーベンホーム戸田 年間行事実績

	年間行事	家族会参加	ボランティア
4月	お花見(各フロア)		・小物入れ作成 ・手話ダンス
5月	端午の節句・母の日(各フロア)		・折り紙作成
6月	ふれあい祭り(6/7) 父の日(各フロア)	ふれあい祭り共催	・ふれあい祭り手伝い
7月	ふれあいコンサート(7/5)	ふれあいコンサート共催	
8月	戸田花火(8/1) アイスクリーム大会(8/29・30)		・寸劇
9月	敬老会(9/13)	敬老会 家族会総会	
10月	運動会(各フロア)		・日本舞踊
11月	とんでん外食(3F) 中町会福祉の集い(各フロア代表)		・書道ライブ
12月	クリスマス会(12/20) 大掃除	クリスマス会及び サンタクロース 大掃除(館内清掃)	
1月	新年会・初詣(各フロア) 獅子舞		
2月	節分(各フロア)		・ハーモニカボランティア
3月	ひな祭り(各フロア)		

\*太文字は全体行事

## 27年度 レーベンホーム戸田 年間行事食実績

4月	開設記念日御前(4/2昼)
5月	端午の節句(5/5昼・タケノコご飯)
6月	ふれあい祭り
7月	七夕そうめん(7/7昼) 土用の丑の日(7/24昼・うな井)
8月	アイスクリーム(8/29.30おやつ)
9月	敬老会(9/13昼) 重陽の節句(9/9昼・栗ごはん、菊花添え) お彼岸(9/23おやつ・こしあんおはぎ)
10月	ハロウィン(10/31おやつ・カボチャプリン)
11月	
12月	冬至膳(12/22昼・生麦ごはん、豚汁、ぶりの柚庵焼き、かぼちゃの煮物) クリスマス(12/20昼・おやつ) 年越しそば(12/31夕)
1月	おせち料理(1/1昼) 七草粥(1/7朝) 小正月(1/15おやつ・汁粉)
2月	節分(2/3昼・ちらし寿司、さんまの生姜煮、大豆の五目煮) バレンタイン(2/14おやつ・チョコレートケーキ)
3月	桃の節句(3/3昼・ちらし寿司)

## 28年度 レーベンホーム戸田 年間行事予定

	年間行事	家族会参加	ボランティア
4月	お花見(各フロア)		
5月	端午の節句・母の日(各フロア)		
6月	ふれあい祭り(6/5) 父の日(各フロア)	ふれあい祭り共催	
7月	ふれあいコンサート	ふれあいコンサート共催	
8月	戸田花火(8/6) アイスクリーム大会		
9月	敬老会	敬老会 家族会総会	
10月	運動会(各フロア)		
11月	とんでん外食 中町会福祉の集い(各フロア代表)		
12月	クリスマス会 大掃除	クリスマス会及び サンタクロース 大掃除(館内清掃)	
1月	新年会・初詣(各フロア) 獅子舞		
2月	節分(各フロア)		
3月	ひな祭り(各フロア)		

\*太文字は全体行事

## 28年度 レーベンホーム戸田 年間行事食予定表

4月	春の行楽弁当
5月	端午の節句、母の日
6月	お祭り屋台、父の日
7月	七夕、土用の丑の日
8月	ソフトクリーム、夏野菜御膳
9月	敬老会、重陽の節句、秋分の日
10月	体育の日、ハロウィン
11月	紅葉御膳
12月	冬至、クリスマス、大晦日
1月	正月、人日、小正月
2月	節分、バレンタイン
3月	桃の節句、春分の日